

2017年8月18日

日本クアンタムストレージ株式会社

クアンタム、Veeam 社ソリューションとの新たな統合を発表し

より効率的な VM 保護を提供

- 重複排除アプライアンス「DXi」が Veeam Data Mover Service によるインスタント VM リカバリーと合成フル・バックアップ作成をサポート
- 「Scalar iBlade」が独立した物理サーバーなしで Veeam によるテープバックアップの作成が可能に

日本クアンタムストレージ株式会社（東京都港区、以下、クアンタム）は、Veeam 社ソリューションに対応する重複排除アプライアンス「DXi®」とクアンタムの最新のテープ・ストレージ・プラットフォーム「Scalar®」との今までにないまったく新しい統合を発表します。

これらの統合ソリューションは、データ損失、局地災害、ランサムウェアからデータを保護する「3-2-1 データ保護」（データ・コピー×3、メディアの種類×2、オフサイトのバックアップ・コピー×1）の導入を容易にし、ベストプラクティスを提供します。

重複排除アプライアンス「DXi」を Veeam Data Mover Service と統合

DXi ソフトウェアの最新アップデートにより、重複排除アプライアンス「DXi」を Veeam Data Mover と統合し、合成フル・バックアップ作成やインスタント VM リカバリーといった Veeam のすべての先進機能をサポートします。重複排除アプライアンス「DXi」を使用している Veeam のお客様は、バックアップ・ストレージのコストを最小限に抑えながら、プロダクション環境の可用性を最大化することができます。

さらに、DXi アプライアンスは次回の Veeam ソフトウェア・リリースの一環として Veeam ユーザー・インターフェースに追加され、統合の強化とジョイント・ソリューションの合理化が実現されます。

独立した物理サーバー無しで Veeam によるテープバックアップの作成を可能にする

「Scalar iBlade」

ランサムウェアからの保護が可能なオフラインの「エアギャップ」バックアップ・コピーを作成可能なため、テープによるバックアップは多くのデータ保護ソリューションで重要な役割を担っています。しかしこれまで、Veeam のお客様

はテープ・ライブラリにアクセスするための物理テープ・サーバーが必要で、100%仮想環境でオフライン保護を行いたい場合は実現困難でした。

Veeam 向けに設計した新しい「Scalar iBlade™」がこの問題を解決します。「iBlade」は、クアンタムのテープ・ストレージ・プラットフォーム「Scalar」の最新製品である Scalar i3 および Scalar i6 テープ・ライブラリにインストールできる組み込みブレード・サーバーです。コンバージド・テープ・ストレージは、Veeam テープ・サーバーおよび関連テープ・ドライバーの役割を果たすので、Veeam のお客様は独立した物理サーバー不要でテープバックアップを作成することができます。「iBlade」はネットワークに直接接続して Scalar ライブラリ内のテープ・ドライブへの接続を可能にし、Veeam 環境に対応した完全なコンバージド・テープ・ストレージ・ソリューションを構築します。

Veeam 向けの効率的な 3-2-1 データ保護を可能にする統合機能

長年にわたり、データ保護のベストプラクティスは「3-2-1 ルール」(データ・コピー×3、メディアの種類×2 (ディスクとテープなど)、オフサイト/オフラインのバックアップ・コピー×1) であるとされています。クアンタムと Veeam はともに、データ損失、局地災害、ランサムウェア、マルウェアからのデータ保護に関して、このベストプラクティスを推奨しています。これらの最新機能により、Quantum DXi および Scalar テープは 3-2-1 データ保護ソリューションのさらに強力なコンビネーションを提供します。

出荷時期と価格

Scalar iBlade は 7 月より出荷を開始しています。価格など詳細は、当社販売パートナーにお問い合わせください。

現在 DXi ソフトウェア 3.x をお使いのお客様は、最新版の DXi ソフトウェア 3.4 にアップグレードし、サポート対象バージョンの Veeam ソフトウェアでこの統合をご利用いただけます。DXi4700 のお客様は、DXi システムでこの機能をサポートするためのメモリ・アップグレード・キットをご購入いただけます。

支持表明

Enterprise Strategy Group 社プリンシパル・アナリスト

Jason Buffington 氏

「VM 保護/リカバリーの効率性と俊敏性の向上は、あらゆる規模の組織にとって絶えざる課題です。重複排除とテープにおけるこの最新の統合は、クアンタムと Veeam の新しい関係性を築くものです。このように包括的なデータ保護ストレージ製品のポートフォリオを持つクアンタムは、データ保護の戦略とメカニズムの現代化を模索している Veeam の顧客に極めて魅力的なソリューションの成果を提供できる立場にあります。」

Veeam Software 社グローバル・アライアンス担当バイス・プレジデント

Andy Vandeveld 氏

「データ・ムーバー・コンポーネントを統合したクアンタム DXi は Veeam の可用性機能のすべてをサポートし、クアンタム Scalar テープは Veeam のお客様によるバックアップ環境のテープ出力の実装を大幅に容易にします。これらのクアンタムとの統合は Veeam のお客様に多大な価値をもたらします。」

クアンタム データセンター・ソリューション部門シニア・ディレクター

Eric Bassier

「これらの最新の技術革新は、Veeam およびクアンタムの「3-2-1 データ保護」ベストプラクティスに基づき、クアンタムのストレージを Veeam 環境に理想的な組み合わせとして確立します。クアンタムのディスク/テープと Veeam バックアップ&レプリケーション・ソフトウェアの融合により、両社共通のお客様は、データ量の成長やランサムウェアなどの脅威といった増え続ける課題に対応することができます。クアンタムのストレージ・ソリューションは Veeam の可用性製品を完全に補完し、先見性のある VM 保護方式を作り上げます。」

その他資料

- クアンタムと Veeam による仮想環境保護の詳細：
<https://www.quantum.com/jp/applications/storage-for-veeam/index.aspx>
- Veeam と DXi 重複排除および Scalar iBlade の統合に関するオンラインセミナー（英語）：
<https://www.brighttalk.com/webcast/13139/260171>

クアンタムについて

クアンタムは、スケールアウト・ストレージ、アーカイブ、データ保護を専門とするリーダー企業であり、全体的なデータのライフサイクルを通じてデジタル資産の共有、保存、およびアクセスのためのソリューションを提供しています。クアンタムはお客様が抱える最も過酷なコンテンツ・ワークフローのニーズに応えることにより、中小企業から大企業に至るまで、100,000 社以上のお客様からの信頼を得ています。お客様はクアンタム製品を使用することで、自社の価値を最大化するためのエンドツーエンドのストレージ基盤を確保し、必要に応じていつでもどこでもそれを利用できるほか、永久にそれを保持することにより、総コストを削減し複雑性を減らすことができます。詳細は、<http://www.quantum.com/jp/customerstories> をご覧ください。

Quantum、Quantum ロゴ、DXi、Scalar、Scalar iBlade は、クアンタム・コーポレーションの登録商標または商標であり、米国の特許商標局およびその他の国に登録されています。その他の商標や登録商標はそれぞれの各社が所有権を有するものです。

お問い合わせ

日本クアンタムストレージ株式会社 (<http://www.quantum.com/jp/>)

email: japan_info@quantum.com

Tel: 03-4360-9255 (代表)